

2015 年度版 ソフトバレーボール競技規則の改・修正点（詳解）

2015 年 3 月

公益財団法人日本バレーボール協会

審判規則委員会

■本年度の改・修正点

1 改正点

（1）チームキャプテンの権利と義務

チームキャプテンは、試合中、選手交代をしてコートを離れるときは、ゲームキャプテンとしての権利を失うため、コート内の選手から代理のゲームキャプテンを指名しなければならない。（Ⅱ-2-(3)-3）

1) 正規の競技中断・選手交代等を要求できる権利を有するゲームキャプテンは、コート内の選手の一人であることが規定されているため、「ゲームキャプテンとしての権利を失うため」の文言を追加することで、チームキャプテンがコートを離れたとき、代理のゲームキャプテン指名を行う必要があることを明確にした。

2) コート内の選手から代理のゲームキャプテンを指名した場合は、競技が再開される前に、指名された選手は主（副）審に対して挙手し、自らがゲームキャプテンであることを示す。万一、代理のゲームキャプテンの指名がない場合は、主審または副審は代理となるゲームキャプテンが誰なのか、当該選手に挙手させ確認しておくことが必要となる。

なお、腕章（アームバンド）はキャプテンマークの代わりであり、ゲームキャプテンを示すものではないため、チームキャプテンの選手交代に合わせゲームキャプテンに指名した選手に引継ぐものではないので注意されたい。

（2）小学生競技規則での選手のユニフォーム番号の規格

選手の服装

選手のユニフォームには、胸部と背部の中央に、1 から 8 の番号を付けなければ」ならない。ただし、やむを得ない場合は、1 から 99 の番号を用いてもよい。

番号は、ユニフォームと異なった色で、胸部には最小限 10cm、背部には最小限 15cm の高さのものを用いる。字幅は、2cm 以上とする。（小学生規則 Ⅱ-2-(4)-2）

小学生を対象とした 6 人制とソフトバレーボールにおいて、ユニフォーム番号の規格が異なることは、参加する種別によりあらたなユニフォームを要するものとなることから、胸部を最小限「5 cm」から「10 cm」に、背部を最小限「10 cm」から「15 cm」に改め、6 人制小学生競技規則との統一を図った。

（3）チームの公式ウォームアップ

注 解

チームの公式ウォームアップ時間については、大会運営や参加選手への負担を考慮し主催者の判断により短縮することができる。（Ⅲ-2）

チームの公式ウォームアップは、大会運営や参加選手の負担を考慮し、主催者判断で対戦チーム合同の公式ウォームアップや、時間短縮が行われている現状があることから、公式ウォームアップ時間短縮の妥当性を補足することを目的に注解として加えた。

2 修正点

(1) 主審の責務

主審は、試合中、次の権限をもつ。

① 略

② 次のことを吹笛し判定する。

(付則Ⅰ－(2)－2)－②)

試合中の主審の権限のうち、②「次のことを判定する。」の表現を「吹笛し」を加え、「次のことを吹笛し判定する。」に修正し、判定では吹笛を行うことを明確にし、また副審の責務での対応と統一を図った。

(2) 公式ハンドシグナル

1) 主・副審のハンドシグナル

主審が吹笛した場合、副審の追従によるハンドシグナルをなくした。

2) 第2図 主審と副審の公式ハンドシグナル

① 各ハンドシグナルに連番を付し、適用条項を加えた。

② 各ハンドシグナルを示すべき主審・副審の表示を修正した。

③ フットフォルトのハンドシグナルの手順を修正した。

3) 第3図 線審のフラッグシグナル

① 各ハンドシグナルに連番を加えた。

② 「グッド」を「ボールイン」、「アウト」を「ボールアウト」に修正した。

1) 6・9人制およびビーチに合わせ、主審が吹笛した場合、副審の追従によるハンドシグナルをなくした。

2) 6・9人制およびビーチに合わせ、第2図に示す主審と副審の公式ハンドシグナルについて、各ハンドシグナルに連番を付し適用条項を加えた。特に各ハンドシグナルの適用条項を加えることで、主審および副審が判定で示すべきハンドシグナルをわかりやすくした。

また、副審の追従によるハンドシグナルをなくしたことに合わせ、ハンドシグナルを示す主審および副審の表示を修正した。

なお、「⑮フットフォルト」のハンドシグナルについて、ハンドシグナルは本来、反則の種類等を示すものであることから、「片方の手で足もとを指してから、次に反則を犯した選手を指す」手順に修正をしたので特に注意されたい。

3) 6・9人制およびビーチに合わせ、第3図に示す線審のフラッグシグナルについて、各ハンドシグナルに連番を付した。

また、適用条項の表記と統一を図るため、フラッグシグナルのうち「グッド」を「ボールイン」、「アウト」を「ボールアウト」と表記を修正した。

(3) 字句と数値の修正を行った。

- 1) 「ベンチ」を全て「チームベンチ」に修正した。
- 2) 各図に図解で示すタイトルを入れた。
- 3) 選手の位置とローテーションに関する注解に、見出し等を加える修正した。
- 4) コートの交替に関する見出しに「コートチェンジ」を加え、合わせて「チェンジコート」を全て「コートチェンジ」に修正した。
- 5) ボールインとボールアウトの第6図について、インプレーとなる許容空間を含めた図解に修正した。

字句や文言はソフトバレーボールの本質に抵触するものでなければ、6・9人制およびビーチと統一した。

- 1) 分かりにくい条文はできるだけ平易に表現し、注解も分かりやすい表記に修正した。
- 2) 各図にタイトルを付すこととした。
- 3) ボールインとボールアウトの第6図（小学生規則第4図）は、インプレーとなる許容空間を含めた図解としわかりやすくした。